

中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」企画展関連行事

# 高橋景作没後150周年記念 高野長英展 講演会/シンポジウム

開催日

2025

11月16日(日)

13:00~15:00



人々を  
飢えから  
救ったのは  
芋と蕎麦!?

大観堂印と印影  
個人蔵



## タイムスケジュール

総司会 角田 正衛  
(同志社校友会群馬県支部副支部長)

《第1部》

基調講演 13:05 ~ 13:55

「幕末のコレラ+蘭医高橋景作」

講師：はっとり皮膚科医院（高崎市）

服部 瑛

《第2部》

パネルディスカッション 14:05 ~ 15:00

コーディネーター：共愛学園前橋国際大学

名誉教授 宮崎 俊弥

パネリスト：はっとり皮膚科医院

医学博士 服部 瑛

国立病院機構東京病院

感染症センター長 永井 英明

婦恋郷土資料館

館長 関 俊明

中之条町歴史と民俗の博物館

「ミュゼ」館長 山口 通喜

## 庶民からみた 幕末のパンデミック

— 郷土の蘭医 高橋景作を知ろう —

感染症  
いま  
むかし

会場

中之条町ツインプラザ  
学習センター1階 交流ホール  
群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町  
1005-1

参加費 無 料

定員 190 名（事前予約制）



実は  
この上州に  
長英の弟子が  
いたのです!

伝高橋景作肖像画  
個人蔵

## お申込み

① 電話申込 ※申し込み先は博物館です。

電話番号：0279-75-1922

受付時間：9:00 ~ 17:00（休館日を除く）

※参加人数と参加者全員のお名前をお伝え  
ください。

② Web 申込フォーム

QRコードまたは URL より参加申し込み  
フォームにアクセスし、必要事項を入力して  
お申し込みください。



URL

<https://logoform.jp/form/HsKx/1171881>

お問い合わせ

中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」

〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町 947-1

TEL：0279-75-1922 E-mail：musee@town.nakanojo.gunma.jp

主催：中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 共催：群馬吾妻地域歴史価値研究会

後援：NHK 前橋放送局 群馬テレビ 上毛新聞社



中之条町 歴史と民俗の博物館  
Nakanojo Museum of Folk and History

NPO 法人地域価値プラス

# 高橋景作没後150周年記念 高野長英展 講演会/シンポジウム

庶民からみた幕末のパンデミック ―郷土の蘭医 高橋景作を知ろう―

高橋景作は、江戸時代後期の寛政11年(1799)に吾妻郡横尾村(現中之条町横尾)の名主の家に生まれました。天保2年(1831)、沢渡温泉(現中之条町上沢渡)の旅館を営む医師・福田宗禎(浩斎)のもとを高野長英が訪れたのをきっかけに、彼に師事して蘭方(西洋)医学を学び始めます。まもなく、江戸に出て長英の私塾・大観堂に入門し、塾頭にまでのぼりつめました。景作は患者の診療や蘭書の翻訳、後進の育成などで長英を支援しました。天保10年(1839)に蛮社の獄で長英が投獄されたとき、すでに景作は帰郷していましたが、後に長英が脱獄して吾妻郡に潜伏した際にも、景作は長英を命懸けで支援しました。

本講演会/シンポジウムでは幕末のコレラ騒動や長英と景作の師弟関係を振り返り、現代の私たちが当時の知られざる史実から何を学ぶのか、学識経験者のお話を聞きながら、会場の参加者と共に語り合いたいと思います。



高橋景作日記(天保9年~明治7年)  
個人蔵

## 講師プロフィール

### 基調講演講師 / パネリスト

#### 服部 瑛

はっとり あきら / Akira Hattori

はっとり皮膚科医院(高崎市)  
1947年、新潟県新潟市(旧新津市)生まれ  
群馬大学医学部大学院博士課程修了  
皮膚科学、博士(医学)  
はっとり皮膚科医院を開業。日本臨床皮膚科  
医学会会頭などを務める。本業の傍ら、日本  
医学史の研究に励む。著書に『古文書からみ  
た幕末のコレラ』(みヤマ文庫)など。



### コーディネーター

#### 宮崎 俊弥

みやざき としや / Toshiya Miyazaki

共愛学園前橋国際大学 名誉教授  
1946年、群馬県吾妻郡中之条町生まれ  
東京教育大学大学院農学研究科修士課程修了  
農業史、農村社会史 修士(農学)  
県内の高校教諭、県史編さん室、県立文書館職員を経て、共愛学園前橋  
国際大学に勤務。『群馬県史』をはじめ、県内の多くの市町村史誌の編さん  
に携わる。著書に『群馬県農業史 上・下』(みヤマ文庫、2007・2009  
年)、『近代群馬のキリスト教教育』(上毛新聞社、2012年)、『近代ま  
え ばし史話』(前橋法人会、2017年)など。桐生市文化財調査委員、桐生  
文化史談会会長、中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」運営審議会委員。

### パネリスト

#### 永井 英明

ながい ひであき / Hideaki Nagai

国立病院機構東京病院 感染症センター長  
1954年、群馬県渋川市生まれ  
東京医科歯科大学医学部卒業  
呼吸器内科、感染症科 博士(医学)  
同大学医学部第1内科、佐久市立国保浅間総合病院内科などでの勤務を  
経て、1984年より国立療養所(現国立病院機構)東京病院呼吸器科に  
勤務。1993年より翌年にかけて厚生省 HIV 感染症研究者海外留学派遣  
により米国ウィスコンシン医科大学に留学、その後、緩和ケア病棟医長、  
呼吸器センター部長を経て、2025年より現職。著書に『医者がすすめる  
病気とのじょうずなつきあい方』(主婦の友社、2003年)など。東京  
医療保健大学大学院看護学研究科臨床教授。

### パネリスト

#### 山口 通喜

やまぐち みちよし / Michiyoshi Yamaguchi

中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」館長  
1956年、群馬県吾妻郡中之条町生まれ  
東京外国語大学中国語学科卒業  
2012年パナソニック(株)を早期退職後、横浜開港資料館、四万温泉田  
村旅館などでの勤務を経て、2016年より現職。共著に『ある無名兵士  
の従軍日誌』(あけび書房、2025年)など、論文に「吾妻の高野長英門  
下生たち」(『群馬文化』335号、2019年)など。同館の企画展「吾妻  
の蘭学者たち―高野長英をめぐる人々―」(2018年)、「江戸時代の先端  
医療―高野長英の門下生と支援者たちの物語―」(2023年)などを担当。  
群馬県博物館連絡協議会副会長、関東地区博物館協会理事。

### パネリスト

#### 関 俊明

せき としあき / Toshiaki Seki

嬭恋郷土資料館 館長  
1963年、群馬県吾妻郡中之条町生まれ  
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了  
考古学、博物館学 博士(歴史学)  
県内の小中学校教諭、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団での勤務を経  
て、2019年より現職。著書に『浅間山大噴火の爪痕―天明三年浅間災  
害遺跡』(新泉社、2010年)、『災害を語り継ぐ』(雄山閣、2018年)、  
共著に『1783 天明泥流の記録』(みヤマ文庫、2016年)など。内閣府  
中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」小委員会委員(20  
04~05年)、第30回石川薫記念地域文化賞・研究賞受賞(2022年)  
など。東京農業大学非常勤講師、群馬大学非常勤講師。

背景画像: 篁庵先生追遠碑

### 交通案内



#### 【電車をご利用の場合】

・JR 吾妻線中之条駅から徒歩約10分

#### 【車をご利用の場合】

・関越自動車道 渋川伊香保ICから約40分

### お問い合わせ

博物館公式 Web サイト

